



From the people of Japan の一員に

宮崎市立大淀中学校 3年 橋本 七帆

モンゴル滞在中、私は至る所でこの言葉を目にしました。そして、この言葉の隣には、モンゴルと日本の国旗がありました。

私は今までモンゴルに興味をもったことも、行きたいと思ったこともありませんでした。しかし、研修を通してモンゴルという国の魅力にどんどん惹かれていく自分がいました。現地の人たちの優しさや母国愛にただただ感動するばかりで、自分はお礼として何を返すことができるだろうと考えている時に冒頭の言葉に出会いました。

私たちは日本人というだけで、行く先々で「ありがとう」と何度も言われました。しかし、私はその感謝の気持ちを素直に受け取ることができませんでした。なぜなら、ついさっきまで日本がこんなにモンゴルを支援していたことも、これほどモンゴルに感謝されていることも知らなかったからです。モンゴルの人たちは日本に関心をもって、いつも歩み寄ってきてくれました。でも自分は何も知らなくて、どうしてもっとモンゴルについて勉強しなかったのだろうと後悔しました。だから次モンゴルを訪れる時には、自信をもってモンゴルの人たちからの「ありがとう」を受け取れるように、自分ができることから始めて、国際協力に貢献していきたいです。

私にとって未知の国だったモンゴルは、温かい人々で溢れたステキな国でした。一つのエッセイから始まったたくさんの出会いを、私はこれから先もずっと大切にしていきたいです。